

2020年11月11日

各 位

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社

LGBTQへの取組評価「PRIDE指標」において、最高評価「ゴールド」を受賞

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(取締役執行役社長:大久保 哲夫、以下「三井住友トラスト・ホールディングス」)は、本日、LGBTQ に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体 wwP(work with Pride)による、LGBTQ などの性的マイノリティに関する取り組みの評価「PRIDE 指標」において、最高評価の「ゴールド」を受賞しましたのでお知らせします。

「PRIDE 指標」は、各企業・団体などの、Policy(行動宣言)、Representation(当事者コミュニティ)、Inspiration(啓発活動)、Development(人事制度・プログラム)、Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)について採点し、総合結果を「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」の三段階で評価するもので、2016年に策定された日本で初めてのLGBTQ 施策評価指標です。2017年度と2018年度は三井住友信託銀行株式会社(以下、「三井住友信託銀行」)が2年連続で「ゴールド」を受賞しておりますが、昨年度からはグループ内に取り組みを拡げ、三井住友トラスト・ホールディングス、三井住友信託銀行、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社がグループとして「ゴールド」を受賞しました。今年度はさらに三井住友トラスト・ビジネスサービス株式会社が加わり、三井住友トラスト・ホールディングスおよびグループ3社*1の取り組みに対してグループとして「ゴールド」を受賞しました。

三井住友トラスト・グループでは、「個々人の多様性と創造性を経営に活かす」というダイバーシティ&インクルージョンの概念そのものを、ミッション(経営理念)として有しています。また、性的指向・性自認を理由とした差別や人権侵害を行わないことがグループの人権方針の一つにあり、組織のポリシーとして明示しています。

LGBTQ などの性的マイノリティの社員が自分らしく能力発揮をしていける職場環境の整備として、相談窓口の設置や福利厚生制度の改定、研修を通した啓発活動などに継続して取り組んでいます。また、「東京レインボープライド 2020」への協賛や、三井住友信託銀行においては2018年1月から同性パートナーを配偶者とみなしてご利用いただける住宅ローン*2の取り扱いを開始するなど、LGBTQ 支援の姿勢を社外、社内に表明しています。

三井住友トラスト・グループは、「個々人の多様性と創造性が、組織の付加価値として存分に活かされ、働くことに夢と誇りとやりがいを持てる職場の提供」というグループの「働き方改革宣言」の実現を目指し、引き続き環境整備や意識改革に努めていきます。



*1三井住友信託銀行、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社、三井住友トラスト・ビジネスサービス株式会社。なお、日興アセットマネジメント株式会社は昨年度に続き、単体でゴールドを受賞。

*2 銀行が指定する公正証書などをご提出いただくことでご利用いただけます。

以上